

【ミサイル対応】

弾道ミサイル着弾時には、爆風や建物等が破壊されたことに伴う破片などが発生し、爆風や破片などによる身体への被害を避けるため、状況に応じた避難行動を取る。

また、弾道ミサイルは極めて短時間で我が国に着弾することが予想されるため、避難行動の時間が限られるので、速やかに以下のような状況に応じた避難行動を取る。

（教師側）

Jアラートが鳴ったら、

- ①速やかな避難行動を促し
- ②正確かつ迅速な情報収集を行う

〔屋外にいるとき〕

- ・運動場、校外学習のときあらかじめ避難先を確認する。

〔教室にいるとき〕

（児童・生徒側）

Jアラートが鳴ったら、

- ① 速やかに避難行動を行う

〔屋外にいるとき〕

- ・爆風や破片などの被害を避けるため、近くの建物の中に避難。

- ・防空頭巾やヘルメットをかぶり、窓から離れ、机の下で身を守る姿勢をとる。

弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急連絡メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。
（例）できれば頑丈な建物や堅いもの。近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物がない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryou/hogo_manual.html

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます

首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/

Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai

近くに
ミサイル
落下！

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

【内閣官房国民保護ポータルサイトより】